

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	森野学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市森野2-21-28(町田第四小学校敷地内) 【開設年月】1972年 【開館日時】月曜日～土曜日／8時～19時 【建物面積】延床面積 261.85㎡ 【建物構造】軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】162名(2024年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyō.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2021年4月1日～2026年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	毎年度	・地域ボランティアの方々の協力により、おやじの会のサツマイモ作り、マジックショーを行い、楽しい体験活動を実施した。また、FC町田ゼルビアと金森学童保育クラブ、保護者と一緒に街のごみ拾い活動を行い、SDGsについて考えるきっかけに繋がった。 ・まちともの行事「プラネタリウム教室」に参加し、他機関との関わりと協力により豊かな経験を持つことができた。 ・環境政策課3R推進係の出張講座でごみの分別について学んだ。また、ゴーヤの栽培活動や、身近な生き物を探す自然とのふれあいなど、日常生活の中で子どもたちのSDGsの意識を高める機会を創出した。
高学年の自立的な生活環境をつくる	2024年度	・高学年は別室で過ごす時間を設けた。宿題やおやつの時間は、できるだけ自分のタイミングで行動できるように配慮したことで、自主性を育むことができた。 ・高学年が楽しんで遊べるような図書やおもちゃを充実させたことで、グループでの遊びの広がりが見られた。楽しみながら過ごす中で、自分で考えて行動することにも繋がった。 ・町田市立図書館の団体登録手続きを行い、高学年も楽しめる本を借りるなどをして、自主的に読書ができる機会を増やし楽しく過ごせる時間を工夫した。
職員の質の向上を図る	毎年度	・研修の機会がある時には積極的に参加し、一人平均17回の研修を受講、自己研鑽に努めた。またクラブ全体ミーティングを月1回程度行い、職員全体での情報共有や対応の確認を行ったことで、職員の意識向上に繋がった。 ・階層別研修を法人内で実施し、職員の経験年数に合わせたスキルアップを行うことができた。 ・人事考課制度を導入し、人材育成の強化を図り、職員の育成に繋がった。 ・職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いて、施設内でのOJTにも力を入れたことで、一人ひとりの意識が高まり、個々の質の向上に繋がった。 ・ICTシステム「コドモン」の使い方の研修を臨時職員にも行い、職員の質の向上に繋がった。 ・常勤以外の職員にも研修の参加を積極的に促し、知識を深めた。また、施設長との面談を実施し意識向上に繋がった。

【評価対象年度 2024年度】

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度についてはA評価の基準を超える95%以上、サービス・施設管理面については目標値である94%には届かなかったものの、B評価の基準を超える92.5%の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。 利用者満足度調査回収率は95%を超えており、利用者意見の収集に取り組んでいたと判断できる。また、回収率から、調査結果の精度は高いと判断できる。 研修の平均受講回数はA評価の基準を超える18.0回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	・ICTシステム「コドモン」の利用により、登降所の通知が保護者に伝わることで保護者の安心につながった。また、欠席や変更等の連絡がスマホでできるので利便性が高く、利用者満足度調査もコドモンで実施することで回収率99%を維持することができた。クラブだよりに写真を多く取り入れ、保護者にクラブの様子がより伝わるようになった。また週1回、今週の一コマとして写真付きで配信するようにし、より頻繁にクラブの様子が伝わるようになった。クラブの写真に毎週の代表的なおやつも掲載し、どんなおやつを出しているか知りたいとの声に応えられるようにした。 ・5月から6月にかけて個人面談、保護者会を年2回(7月・1月)、12月に5日間保育参観期間とし、保護者にクラブの様子を知っていただく機会となった。 ・地域の方々の協力により、マジックショー、サツマイモ作り等の様々な体験を行った。 ・まちともスタッフと日頃からコミュニケーションをとるように心がけ、協力して子どもたちを見守ることで子どもの安全につながった。また、まちとも行事「プラネタリウム教室」に参加させてもらい、まちともの利用者との関わりや遊びが広がり、子どもの楽しみにつながった。 ・関係機関と丁寧に情報を共有し、保護者やその子どもたちに寄り添った支援を行うことで、一人ひとりに配慮した支援となった。クラブ内の職員間での情報共有や支援方法の見直しもこまめに行い、必要に応じて学校担任との情報共有を行い連携を密にした。 ・特別養護老人ホーム「コモンズ」に子どもが書いた手紙を贈ることで交流を持ち、地域の交流を広げることができた。 ・子育て支援事業にこにこほっとサロンを月1回程度開催し、地域の子育て支援に協力することができた。また、未就学児学童保育クラブ体験を行い、新入生のスムーズな受け入れのために地域の保育園と連携をとることができた。	

【評価対象年度 2024年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2024年12月2日～12月28日(27日間) 【登録児童数】147名(調査月1日時点) 【配布枚数】128枚 【回答数】127枚 【回収率】99.2% 【調査方法】(配布方法)ICTシステムコドモンのアンケート機能の活用・おたよりで配布 (回収方法)コドモン・玄関先の回収箱
------	--

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		94%	98.4%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	91	92	93	94	95
実績値	97.6	95.3	95.9	98.4	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A:95%以上 B:75%以上～95%未満 C:75%未満	94.0%	92.5%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	91	92	93	94	95
実績値	90.4	91.3	93.5	92.5	

指標3	評価基準		目標	結果	評価
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A:10回以上 B:2回以上10回未満 C:2回未満		10回	18.0回	A
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	10	10	10	10	10
実績値	13.6	15.4	16.0	18.0	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度においてB評価の基準を満たす75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は95%を超えており、利用者意見の収集に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は18回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2024年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯及び交通安全に関する訓練を年各2回以上実施	火災、地震、防犯、交通安全に関する訓練を年2回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が52.9%であることを「職員調書」で確認した。	適

【評価対象年度 2024年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年1月27日に同一法人が管理するすまいる学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年1月27日に同一法人が管理するすまいる学童保育クラブでモニタリングを実施し、労働条件通知書の項目で「不適」であったが、年度中には正されたことを確認したため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2021		2022		2023		2024		2025	
項目		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	40,489	39,743	43,009	42,038	44,153	43,490	45,042	44,098	23,911	
	特別育成料	694	542	541	369	446	603	582	620	0	
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	41,183	40,285	43,550	42,407	44,599	44,093	45,624	44,718	23,911	0
支出	人件費	34,454	32,864	36,287	34,398	37,055	35,875	38,216	36,161	18,865	
	管理費	1,029	678	1,062	789	1,119	598	955	732	469	
	運営費	813	414	868	430	964	478	1,089	545	280	
	精算する経費	1,700	1,685	2,091	2,271	2,091	2,046	2,250	2,310	1,700	
	間接経費	3,187	2,754	3,242	3,186	3,370	3,324	3,114	2,715	2,597	
	計	41,183	38,395	43,550	41,074	44,599	42,321	45,624	42,463	23,911	
総計(収入-支出)		0	1,890	0	1,333	0	1,772	0	2,255	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2021	2022	2023	2024	2025
経常利益率	3.0	2.8	2.4	4.4	
負債比率	67.3	66.1	67.3	60.6	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考えます。